

新春対談

これからの高山市を語る

1月1日からケーブルテレビで放送された市政情報番組『ハイ、市役所です』で、國島市長と車戸議長が「これからの高山市を語る」と題して対談しましたので、その内容を紹介します。



くしまちひろ 國島芳明市長

昭和25年1月15日生まれの62歳
平成22年9月に第10代高山市長に就任

くるまだあきら 車戸明良議長

昭和25年10月8日生まれの61歳
平成23年5月に第78代高山市議会議長に就任

より近い、
市民との距離を目指して

—市長は就任当初から市民との対話を重視した取組みを行い、また、改革元年となった議会でも「市民意見交換会」を開催し、互いに市民との距離を近づける取組みをしています。まずはそこからお話ください。

市長 市政の主人公は市民の皆様ですから、主人公が抱くご要望や思い描くまちの将来像を、市長という立場で実現させていただくことが大切だと思います。市民と市長の対話集会でも非常に多くの皆様からお話をお伺いすることができました。今後とも、対話はきちんと続けてまいります。

議長 私たち議会も昨年は24人の新しい定数の中、より市民目線の取組みをしたいとの思いで、皆様のところにお伺いして生の声を聞かせていただく市民意見交換会を開きました。やはり、素直な気持ちと地道な活動で市民の皆様のためを思う「火種」を消すことなく持ち続けて臨みたいですね。

—昨年導入しました議会の一問一答方式についてはいかがでしたか。



▲一問一答のようす(議場)

議長 市民の皆様には「議場でこうやって議論しているんですよ」という姿を見ていただき知っていただきたいです。そのためには、分かりやすい討論でなければならぬと思います。しかし議員もまだ勉強不足の感は否めないもので、よりよい政策論争ができるよう、日々考えていきたいですね。

市長 議会の今後注目ですね。議会とは本来そういった場所だと私も思います。目指すべきはみんなが一緒。よりよい高山です。いろんな意見を出し合う中で探していくことが大事だと思います。私たちも必死になつて一生懸命お応えしてまいります。